

「外国人県民」感染防止強化対策 (美濃加茂市・可児市・岐阜県連携対策)

<現状>

○美濃加茂市及び可児市では、感染者の半数程度を外国人県民が占める状況

【5/17～5/23 の新規感染者のうち外国人県民】

美濃加茂市：38人中17人（44.7%）可児市：70人中23人（32.9%）

○外国人県民はコミュニティの結びつきが強く、ひとたび感染者が発生するとクラスターになりやすい傾向

【外国人県民クラスターの事例】

- ・関市、土岐市、郡上市、富加町、可児市の各職場にまたがる、これまでで2番目に大きいクラスター（現在117名）
- ・感染者の多くが美濃加茂市及び可児市からの外国人県民の派遣労働者
- ・送迎用バスの車内での感染に加え、家族や友人等で集まったの飲食を通じて家族等へも感染が拡大

○上記のような職場や家庭での感染に加え、教会など外国人コミュニティの場を通じたクラスターが多く発生

1 事業者に向けた対策

- 強化** 広域の感染拡大の一因となっている派遣企業を重点に、外国人雇用企業への直接訪問、感染防止対策徹底要請の集中的実施 **県** **両市**
- 強化** 日本語教室、教会などに赴き、外国人県民に対するモニタリング検査を積極的に実施 **県** **両市**
- 新** 送迎バス乗車時における検温チェックの徹底を要請 **両市**
- 新** 感染拡大の一因となっている派遣労働者送迎バス等の感染防止対策にかかる補助制度（協調補助）の創設 **県** **両市**
- 強化** 上記の取組みに加え、感染状況や具体例を共有し、対策につなげる派遣事業者を対象とした感染対策会議の開催 **県** **両市**
- 商工会議所等を通じた職場での感染防止対策の徹底の依頼 **両市**

2 外国人コミュニティ・家族に向けた対策

(1) コミュニティ・たまり場での集中PR

- 新** 教会等外国人コミュニティの拠点・たまり場、あるいは多くの外国人が利用する量販店、レストランの協力の上、外国語による啓発キャンペーンの実施 両市

※特にバーベキューや大人数での会食等の禁止、発熱等体調不良時の全ての行動をストップする、といった基本的行動の徹底。

- 新** 地域、自治会などでの外国人県民へのマスク着用声かけ運動を展開
※「Wear Mask」運動、「Usando Uma Mascara」運動 両市
- 職員によるコミュニティ、たまり場の見回り、感染防止対策の声かけ 両市

(2) 新たなコミュニティの把握

- 新** 未把握の教会においてクラスターが発生したことから、行政窓口へ来た外国人県民への聴き取り等を通じたコミュニティの更なる把握 両市

(3) 外国人県民全家庭の直接的働きかけ

- 強化** 外国人世帯への啓発チラシの郵送配布の頻回実施 両市
- 学校を通じ、児童生徒から各家庭への基本的な感染防止対策のPR 両市

3 美濃加茂市、可児市周辺市町への広域展開

- 新** 周辺市町との連携を促進する「(仮)外国人県民感染対策連絡会議」を新たに設置し、情報共有と対策を広域で実施 県 両市・周辺市町

<周辺市町(予定)>多治見市、関市、各務原市、土岐市、山県市、加茂郡(坂祝町等7町)、可児郡(御嵩町)